



# 市民のいのちと暮らしを守る新たな年に

新しい年を迎え、安心して暮らせるまちづくりが前進するように多くの市民の皆さんの願いをどう実現するのか。市政と議会のあり方が問われています。今年には議員選挙の年でもあります。大津市政と議会のこれからについて市議団で語り合いました。

### いのちと暮らしを大切に暮らそう

八木 市民の暮らしは、生活保護受給世帯が1%台になり、小・中学校の就学援助費を受ける生徒が19%を超えるなど困難な状況が広がっています。市民の暮らしを最優先にする政治を前へ進めることができます。重要になっていきますね。

杉浦 共産党市議団は市民生活の向上に重点をおき、雇用の安定と拡大、社会保障の再生、地域経済の活性化に取り組むことなどを予算編成にあたっての政策要望としてまとめ、市長に申し入れました。

塚本 まちづくりの問題では、地域の高齢者の方々と話をしている、病院や買い物への公共交通を復活・拡充することが必要だとあらためて痛感しています。

石黒 たくさん生活相談を受けているけど、滞納金などの徴収対策が強化され、生活費にまで食い込む差し押さえが行われています。生活再建を第一に相談できる窓口が必要だと思いますね。

佐々木 暮らしと関わる公共料金では、市のガス事業の内部留保は150億円もありますので、まずはガス料金の値下げで暮らし応援のために還元すべきですね。



杉浦 安心して子育てが出来るよう、小学校3年生まで拡大してきた医療費の補助、今後は義務教育の期間へ広げていきたいです。

岸本 中学校給食は「教育の一環」として全国で既に8割の中学校が実施しているんだから、大津市でも計画を持つべきだと思われ、食育や地域活性化にもつながるし。教室のエアコンもつけていけるようにがんばりたいと思います。

### 切実な願い届け、市政をたください

佐々木 市政や議会の問題点も明らかになってきたね。暮らしがかつてなく大変なのに、財政健全化を口実に上・下水道料金的大幅値上げや敬老祝金の削減など、議会が共産党以外がこれを進めたのは問題だと思っね。

岸本 合併した志賀地域では比良トピアへの福祉バスが廃止され、幼稚園の3年保育の廃止や、通学補助の削減が行われ、これから中学校給食の廃止などが検討されている、合併を進めた人でもこんなはずじゃなかったと声が出てくるわ……。

佐々木 環境面では、南部でごみ焼却場問題が議論されています。ごみは分別や資源回収などで行政と



市民との協働で減量すれば、焼却炉の予算をへらせます。ごみ有料化はすべきじゃないね。

石黒 こういう負担を増やしたり、サービスを切り下げるのに共産党以外の会派は、あまり問題にしないのはどうしてかな？予算がないと言っけど、庁舎基金の積み立てや、大企業への企業立地補助なんかの無駄遣いを見直せば財源はあるのにな。



塚本 そういえば去年の議会でも、奨学金を利用してはいる学生が「不安定雇用で奨学金を返済できない」と市議会に陳情に来て、共産党は「雇用の安定を政府に求める意見書」を提案したけど、他の会派が否決。こんな声を届けることに反対するのかがびっくりした。

### 市民と共産党の共同が市政を動かす

岸本 切実な願いを届ける議員の役割が本当に大切だと思います。議会に寄せられた請願書「旧志賀町での防災無線の活用」や「住宅リフォーム補助制度」なども、自民・公明・民主系会派の反対でいったん否決、だけど粘り強い運動や論戦で実現してきましたね。

八木 議会改革では、共産党がこ



杉浦 これまでも浜大津への庁舎建設はやめて、学校の耐震化や暮らしを優先せよと提起してきましたが、昨年度から学校の耐震化が進み、子どもの医療費助成の拡大や子宮頸がんワクチン等の無料接種も実施へと動いています。

塚本 高すぎる国民健康保険料が払えない人が、保険証を持てずに命を落とすことが問題になりました。議会でも繰り返し取り上げて、高校生以下の短期保険証が郵送交付となり、今年からは低所得者の窓口負担の減免も実施の見通しとなりました。

石黒 障害者自立支援法も、廃止にむけて障がい者を含めた新法への検討がおこなわれています。当事者が声を上げて力を合わせれば、変えることができると実感しました。

八木 いのちと暮らしを大切に市政の推進のために、議会報告や市民の皆さんの要望などもよく聞き、議会基本条例を検討するなど、市民に身近な議員として活動できるように「住民が主人公」の立場でがんばりましょう。